

今年度の二大目標は

I、100万人会員増強運動の四年次 II、新地域支援事業の初年度

であります。

- ★平成26年度から始まった5年間、4年度の推進をはかるということで、あと二年間で、目標を達成する年である。県下では、2万人増員運動ということで、会員数×0.04は、現在会員数が2800人として=112人の増員目標である。初年度～昨年の3年次まで、各单位クラブの努力で一定の成果を伊那市高連はあげたが、最終の2年間の成果如何によって成功かどうか問われることとなる。

《重点目標》

- (1)、市高連と単位クラブとの協議の場づくり
- (2)、新規クラブの立ち上げの増加
- (3)、解散クラブの防止
- (4)、単位クラブの純増をめざす。特に(2)・(4)をわが市高連は、良き成績。

- ★二つ目の柱は、新地域支援事業にむけての行動提言である。

介護保険制度の改正により、1・2の要介護の支援にたいし、独自の新地域支援事業に取り組むことになった。平成29年度は、3年間の移行期間の最終年であり地域のすべての市町村で実施することになった。

伊那市の場合も、各地域ごとに話し合いをすすめ、実態の把握と支援の在り方を模索をはじめた。地区の老人クラブもその組織の一翼を担うべく、代表者が会合に出をはじめている。市からも要請の手紙も、今後投函される。

★平成29年度の行事予定

●二つの研修会

- ①、春の役員研修会 5月19日(金) 於伊那公民館
- ②、秋のクラブ大会 10月14日(土) 於伊那公民館

●県主催の研修会

- ①、南信ブロック研修会 6月21日(水) 於飯田市合同庁舎

会員減少の70%はクラブ解散が原因

クラブ運営の妙は、誰かさんの努力のみ

土手に穴があき、だんだん穴は大きくなってクラブが崩壊しました。

クラブの解散・崩壊などにより、折角会員の拡大を目指し、地道に努力している運動も瓦解してしまうような現象が目前に起きています。全国的にみても『会員の減少の70%は、高齢者クラブの解散が原因』と考えられています。

あなたの単位クラブも平成29年度を乗り切ってクラブをすすめています。その主な原因は何だと思われますか。下記にその継続要因を箇条書きにお書き下さい

- ★① 毎月の事業が実に良いと皆集まってくれる。
- ② 事務局が、実力のある人で企画ががいい。
- ③ 困ることは高齢化で役員のみならずのこと。 (手良・野口)
- ★① 魅力ある会にするため、活動内容の精選化が大事と思う。
- ② 人間関係づくりから入会をすすめ、会員増員が急務である。
- ③ 同好会を立ち上げながらの増員勧誘をする。
- ④ 行事の活性化策を断行すること。 (境)
- ★① みんなが楽しく何かに打ち込む事業の開発 (日影)
- ★① 平均若い人が多く、マレット大会には会員の半数以上が参加する。
- ② 飲食を伴う会合によって多数参加してもらっている (盛年福祉の会)
- ★① 会長がねばり強い。
- ② 事務局 担当者が熱心である。
- ③ 脳いきいき教室のあとのお茶飲みが効果的である。
- ④ 私(副会長)の意地。
- ⑤ 合同行事の提案を(他地域クラブとの連携計画づくり)企画中 (中尾)
- ★① 足のない年配者に、足を確保してやるのが急務 (小出島)
- ★① 近隣の三地区連合会で、行事を楽しむ
- ② 総会や旅行等を楽しむ会員が多い。

増員運動4年目もひたむきな成果

長い歴史を積み重ねたクラブにやや疲れがみえる・ここで中興の策も講じたい!

★増員運動3年目の成果は、過去の1・2年の実績と比べてやや息切れがしてきたがそれでも、先頭を突っ走ってきた幾つかのクラブに敬意を表したい。

昨年末の平成28年度第3回増員運動の成果は、下記の通りである

☆復活クラブ2クラブ立ち上がる。

復活クラブ 獲得数	下殿島 老人クラブ	59人
同	羽広 高齢者クラブ	33人

☆一般クラブも精力的な成果。

順位	クラブ名	獲得数	順位	クラブ名	獲得数
1位	山寺西部	18人	8位	御園	5人
2位	山寺東部	13人	8位	坂下第二	5人
3位	澤渡	12人	10位	小出島	4人
4位	下手良	10人	10位	芝平	4人
5位	非持山	9人	10位	山寺中部	4人
6位	西高遠	7人	13位	日影	3人
6位	川北	7人	13位	上新田	3人
			13位	金井	3人
			13位	非持	3人
				以下略	

※5人以上のクラブが、県からのクラブ賞状のクラブである。

昨年は、9クラブが受賞の対象となる。

★目標獲得数は、下記のクラブである。

昨年度のクラブ会員数×(1.04)＝数値が基準より増加したクラブが、目標達成のクラブです。

◇御 園	◇山寺東部	◇山寺中部	◇山寺西部	◇坂下第一
◇坂下第二		◇川 北	◇線路東	◇伊那部
◇日 影	◇上 牧	◇上新田	◇下殿島	◇八ツ手
◇下手良	◇小出島	◇澤 渡	◇西高遠	◇芝 平
◇金 井	◇非持山	◇非 持		

全54クラブの内 22クラブが目標を達成しました。ご苦労様でした。

★ ここで、過去3年間の皆さんの努力の実績を表にしますと

平成26年（初年度の成果）		平成27年度（二年次）	平成28年度（三年次）
新規の会員数	237名	206名	217名
男性会員数	120名	69名	165名
女性会員数	117名	137名	52名
退会会員数	43名	34名	68名
(男性・女性)	(13・30)	(12・22)	(不明)
増員数	194名	172名	149名
5名以上の獲得数	13 クラブ	12 クラブ	9 クラブ
会員数×1、04	28 クラブ	25 クラブ	21 クラブ

《総評》

☆ 過去3年間 初年度 237名・2年次 206名・昨年は217名

で3年間すべて新規加入者は200名をオーバーしている

☆ その増員数は、初年度 194名・2年次 172名・昨年は149名

で一年間150名以上の増員である。

☆ 伊那市高連は、脱退者が昨年は68名であったが、初年度43名・2年次は34名と（現員）－（脱退者）が極端に少ないのがいい結果をだしているようである。

☆ 未加入地区を毎年皆さんの努力で、少しずつ切り崩してきているのも、明るい展望が見え始めてきている。

昨年も下殿島の59名・羽広高齢者クラブ33名の成果は大きな収穫である。

単位クラブ役員会・指導者研修会盛大に開催 会員増強の秘策・新地域支援事業など研修

★平成29年度の単位クラブ役員会・指導者研修会は、5月19日（金）に伊那市公民館の二階講堂で行なわれた。単位クラブ会長・副会長・女性部長など1クラブ3名位を対象に当面、役員がやるべきことについて、1：30～4：00まで集中的に研修した。総員150余名であった。

★第一部は単位クラブ役員会で、冒頭の伊那市の歌につづき、今年度の市三役・担当職員の紹介のあと、今年度の新規加盟クラブの紹介を行なった。

会長挨拶で『今年度のクラブの課題は2つあり、一つは100万人会員増強運動の4年次で、今年と翌年の2年を残すのみであることを報告。もう一つの課題は、介護法改正により、地域包括支援事業がこの4月よりスタートし新地域支援事業として、住みなれた地域で生活できるよう介護・医療・生活援助の充実をめざす課題である。

前者については、未組織地域の東春近の下殿島老人クラブが会員59名で入会してくれ、西箕輪地区の羽広高齢者クラブが、33名の団体で仲間に入ってくれた。あと美簾地区のみとなったので、早急に働きかけるようみんなで努力したい』と結んだ。

★来賓挨拶で、伊那市の行政を代表して伊藤徹福祉部長さんは、「今日は、伊藤です。市長は公務のため欠席ですが、本日は盛大に会が開催され嬉しい。市の高齢人口は2万600人で全体の30%をしめる。一人暮らしの方が多い。脳いきいきや筋力体操など勤めています。それには、地域の支えあいや生きがいづくりをやっていきたい今後活動の輪を広げていきたい。クラブの盛会を祈ります。」

黒河内市議会議長さんは、「まずは、盛会で嬉しい。今日は、いい天気で、私も4反歩を耕作しているが、去年の春から息子に譲った。日本の農業は、70～80歳の高齢者が支えているという。今日地域で困っているのは、元気高齢者であるという。

あとにつづくクラブのために後輩の手本になってほしいと願う。皆さんの頑張りが、伊那市を支えている。市としても議会としても大いに期待したい」

伊藤社協会長さんは「下殿島の出身です。今度加盟をしたが、社会奉仕活動をして

もらっています。市の社協への協力もしてもらっています。地域で豊かに安心して
くらすために努力をしたい。人と人が触れ合うサロン活動。居場所づくり、街の縁
側事業、福祉学習会、助け合い事業（買物事業）を行なっている。安心してくらす
ための福祉の向上に邁進したい」

★報告事項として、専任書記の御子柴さんより提出物のお願いがあり、続けて市よりの
助成金について宮下係長さんより事業活動等にかかわる補助金の説明が行なわれた。

★室町高齢者クラブのクラブ発表。『男性33名・女性31名 計64名・平均年令
81歳。飯島会長さんは76歳で青年部所属。財政は年会費1000円と補助金で、
約30万円。街を6分割して6人の班長で活躍している。無理なく、楽しく笑って
すごそうをモットーにしている。毎月26日を定例会にあてており、清掃活動を内
を女性・外を男性が分担。素晴らしい花壇を作っている。歌はハーモニカ演奏を2～
3曲やり、最後は市の歌を歌う。高遠・長谷・羽広など15名から23名で入浴。年
一度は郡外へ湯治。山王閣へは昨年いつてきた。体操も取り入れる。学習はその道の
大家が多く、街の歴史などをまなんでいる。室町の150mの間につつじや花水木を育
てている。でも道路許可の申請が煩瑣である。最後に高齢者クラブの高齢化には頭が
痛く 60～70代の方々は入ってくれない。

いまクラブの原点を見なおす時期にきているのではないか』

★第2部：指導者研修会にはいる。

1、会員増強運動の成果について

山寺白山クラブ西部（発表者：クラブ会長・山岸真さん）

『山寺は3クラブあり、西部は上村から高尾町付近）その中で上村は5～6名であと
西部地区が65名である。非常にアンバランスである。そこで新会員の募集を重点
におき、区長などとともに対策を練る。まず回覧を廻す。推薦人14名の方で呼び
掛けをし、70歳以上の方々の名簿を作成し、3名一組の班でローラー作戦を実施。
25名を獲得する。入るといっても会費を払うまでは難渋。50名など入り上村地
区を独立したいが、前途多難である。』

★本腰をいれてことにあたると大きなことができるよい事例である。

一人の力も偉大だが、西部のように全員であたることが大事。

特に、自治区の役員のバックアップが大事という好例。

会員獲得の報告は、山寺白山クラブ西部・澤渡クラブ 新地域支援事業は、クラブ長へ出席要請あり

★新会員獲得策の実践：澤渡クラブ（寺山会長報告）

澤渡は、西春近の中央にあり、人口800名で、高齢者は300名をしめる。100名が現会員である。病気や認知症・自営の仕事の人などはいっていない。団体に入って何かをやる人は嫌いな人が多い。2度と入会しないという人もあり。

今まで私はなにをやってきたかをお話します。

日常的に声をかける。話し掛けることを大切にしてきた。4月のマレット大会をお行なった時、声をかけたら自分だけに声掛けしてくれたと喜んでくれた。どのクラブに入らんというとまだ早いのでもう4～5年先と答える。いつごろなら入る？70歳になって仕事が終わったら入る。それをメモしておいて勧誘する。今年は12名獲得した。

一人は日本舞踊の方。足腰が痛いが入会、夫も入会。琴をやっている方も入会。連れ合いも入会。いままで、声掛けで良かったことは

- 1、ごろごろしてテレビを見ている方。認知症の症状あり
- 2、足腰が悪くなったら終わり。うごいている時がおすすめ。
- 3、女性で若くて綺麗な方を誘っている。

※種を蒔いて、時期をみて刈り取る。これが上策。

お茶をのみながらお誘いをかけると効果あり。

勧誘の秘策なし。本人に納得して入ってもらうことが近道である。

◎ 介護1・2の認定者が、出来るだけ地域でケアするように改正された

伊那市センター係 池上 きくみ さん

◎地域包括支援センターの任務は

- 1、高齢者や家族等から介護・健康・福祉の相談を受けるところ。
- 2、出来るだけ介護が必要とならないように予防の取り組みを行なう。
- 3、介護予防ケアマネジメント要介護1・2の認定のサービスを作成する。
- 4、権利や財産を守る。

5、在宅医療・地域ケア会議の推進・生活支援の充実。

●介護予防の取り組み

- 1、脳いきいき教室・筋力アップ教室
- 2、認知症への取り組みとして、おしゃべりカフェ・認知症集中支援

●伊那市の高齢者

- 1、高齢者人口2万人 高齢化率30、%
- 2、介護認定率13・0% 介護1が28% 介護2が19%
- 3、認定者 85歳以上 61%

●みなさんは、自分の健康管理をどうように行なっていますか。

自分の健康は自分で守るしかありませんが、具合の悪いのに我慢してはいけません。身近な受け持ち医を持ち、自分の体の状況を受け持ち医に知ってもらっておくことも重要です。

85歳以上になると、健康障害が出る方は多いのですが、人生100年の時代ですので、その時の自分の状態を受けとめ、悲観的にかんがえないで、前向きに気持ちをもって、伊那市の皆さんは全員100歳を越える勢いで楽しく暮らしましょう。

●地域包括ケアシステムの現状

ケアシステムとは：地域で住み慣れた自分らしい生活ができるよう住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組み。

- 1、個別の地域ケア会議
- 2、地域レベルでの地域ケア会議
- 3、伊那市全体の地域ケア会議

●昨年度に高齢者クラブが出席した地域ケア会議は

- (1)、長谷：高齢者クラブ8名参加
- (2)、山寺；各区の役員（高齢者クラブ兼務）
- (3)、荒井：高齢者クラブ3名出席

※今後は、全地区へ波及する予定。高齢者クラブ役員名簿を担当者に配布済み。

●介護予防・日常生活支援総合事業。

65歳以上のすべての人を対象として市が行なう介護予防事業。以下略。

100名余の参加者・団体戦20チーム

- ◆ 優勝：境チーム・準優勝：御園チーム・第3位：川北町チーム ◆
- ◆ 個人戦優勝：浅野八重子・2位：根津昌行・3位：山岸俊行 ◆

★市高連のマレットボール大会は、平成29年6月1日に羽広のマレットパークで行なわれた。当日は、時々30度以上になる天候続きであったが、中日としてやや天候がくずれ、朝のうちにばらばらの小雨が舞った。

しかし、8：30の受け付けの頃は、青空が見えだした。

★班別に整列して、開会式を挙行。体育部員による司会進行。

会長挨拶：今日の皆さんの整列は、大勢で圧倒されます。参加者100余名で嬉しい。今年入会された、羽広のクラブも下殿島のクラブも活動主体はマレットとのことで、そういった未加入のクラブをこの際大いに勧誘することが、大事だとおもいます。今年の県大会は、白馬の予定ですので、20チームを倒したチームに出場してもらいます。頑張ってください。

★来賓挨拶：松沢福祉課長さん・本日は大会でおめでとうございます。日頃は、行政に協力いただき感謝です。今高齢者は、市として30%です。歌手の湯沢かよこさんがオリジナルの体操を吹き込んだので大いに利用して下さい。

社協会長・伊藤隆さん挨拶：おはようございます。本日は、雨がばらばらきましたが、なんとなく出来そうで嬉しい。役員のみなさんも明るく、元気をお願いしたい。賞品がいっぱいあるので、頑張ってください。この大会をとおして、皆さんの交流の場となりますように。

★優勝トロフィー返還。昨年優勝チームの境チームより。

続いて、競技上の注意を根津体育委員さん。

★団体20チームは、天龍のコート・個人戦は、仙丈のコートで開始。

★団体戦の成績発表：

◆ 優勝チームは、境高齢者クラブ・251点

選手：唐澤正尚さん 60・石井国彦さん67・伊藤和子さん62・石井あけみさん62

◆ 準優勝チームは、御園友愛会・264点

選手：茅原辰夫さん67・小町谷勝己さん76・浅井芳治朗さん60・浅井和夫さん61

◆ 第三位：川北町高齢者クラブ ・ 279点

選手：福沢さん61・小島文雄さん77・北林秋雄さん67・後田武さん74

◇ 第4位：坂下高齢者クラブ ・ 283点

選手：唐木 ・ 松下 ・ 亀山 ・ 中林

◇ 第5位：上荒井友愛クラブ ・ 291点

選手： 柴 ・ 白木 ・ 高橋 ・ 柴

◇ 第6位：小出島年輩者の会 ・ 293点

選手： 広瀬 ・ 坂下 ・ 伊藤 ・ 酒井

◇ 第7位：澤渡高齢者クラブB ・ 297点

選手： 渋川 ・ 三沢 ・ 平沢 ・ 北沢

◇ 第8位：羽広高齢者クラブ ・ 300点

選手： 林 ・ 丸山 ・ 安藤 ・ 小林

◇ 第9位：白山西部クラブ ・ 302点

選手： 武田 ・ 渡辺 ・ 柴 ・ 高山

◇ 第10位：非持高齢者クラブ ・ 305点

選手： 池上 ・ 中山 ・ 春日 ・ 中山

◇ 第11位：日影ふれあいクラブ ・ 306点

選手： 酒井 ・ 掘米 ・ 皆川 ・ 春日

以下：チームのみ記入（ 順不同） △御園B △山寺白山東部 A △ 東部B

△山寺白山中部 △川北B △澤渡 B △東高遠仲良し会

△西高遠高齢者クラブ △貝沼明笑会 計20チーム

※今年の優勝チームは、境で昨年
に続いて連続優勝。第2位は御、
園で一昨年の優勝チーム。第3
位は川北チームでやはり初回の
優勝チーム。今年の派遣チーム
は、決定を体育委員会に委譲する
予定。

★ ホールインワン賞

☆白山西部 柴 陸 紀さん

☆羽広 安 藤 百合子 さん

☆西高遠 松 尾 た か 子 さん

★個人戦の入賞者 優勝：浅 野 八 重 子 さん 63点

準優勝：根 津 正 行 さん 69点

第3位：山 岸 俊 行 さん 72点

講評：雨が大きしたことなくて

よかった。

みんなプレーうまい。

違う団体とかちあったが

早めに申し込んだから

良かった。ご苦労様！